



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第164号

発行:2019年12月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

働きがいのある病院をめざして

フジヤマ病院 副看護部長 古藤田 由佳



新しい元号が「令和」と発表された日に、フジヤマ病院の副看護部長に任命され、早くも令和元年が終わろうとしています。

新天皇となり時代も変わる中、フジヤマ病院も昨年の耐震工事から始まり、3階の一般病棟の改修工事も完成を迎えました。新しいフロアに入院された患者さんから「見違えるほどきれいになったね。」との声や、職員から「病院がきれいになって、働いていて本当に気持ちがいい。」との声が聞かれています。これから更に、オーダリングシステムの導入など、益々ハード面での療養環境・勤務環境が整っていく予定です。それによって、患者さんの療養意欲や職員の就業意欲の向上に繋がることを期待しています。そして今、ソフト面での勤務環境を整えようと石塚看護部長のご指導の下、熟慮しています。私たち看護部の喫緊の優先事項は、「慢性的になりつつある超過勤務を改善する。」「夜勤就業者を確保するために夜勤業務の負担を軽減する。」です。

医療機関の勤務環境改善に関する改正医療法の規定が施行され、厚労省でも、医療従事者の勤務環境の改善を推進しています。勤務環境改善の意義として厚労省は、「医療機関が医療の質の向上や経営の安定化の観点から、自らのミッションに基づき、ビジョンの実現に向けて組織として発展していくことが重要。そのためには、医療機関において医療従事者が働きやすい環境を整え、専門職の集団としての働きがいを高めるよう勤務環境を改善される組織が不可欠。勤務環境の改善により医療従事者を惹きつ

けられる医療機関となるだけでなく、医療の質が向上し、患者の満足度も向上する。」といった、「医療従事者、患者、経営にとってWIN-WIN-WINの好循環を作る。」と述べています。私たち看護部でも、働きがいのある勤務環境をめざして、業務改善や人的配置などを考慮し勤務環境改善を進めていきたいと考えています。

私は、外来師長も兼務させて頂いています。外来では昨年より、慢性疾患を持つ患者さんが在宅でも不安なく療養ができるように、外来患者情報用紙を作成し患者さんのバックグラウンドを知ることと、看護記録を書き継続的に患者さんを看っていくことに取り組んでいます。外来の職員同士の情報共有にもなり、診療が円滑に進むことへの一助にもなればと考えています。

また、今年から、地域ケア構想に沿って「時々入院、ほぼ在宅」の考えのもと、富士宮市でも看看連携が始まりました。当院職員も勉強会に出席させて頂いたり、地域の包括支援センターの方に外来通院中の患者さんについての相談をすることができたりと、少しずつ連携がとれ始めています。

時代が変わる今年も、フジヤマ病院にとっても変化のある一年でした。しかし、日本における政治経済の混迷、気象の激しい変化を見ると今後更なる変化が求められると考えます。どんな時でも状況に合わせ、働きがいのある病院をめざし、医療の質の向上と、患者満足度の向上に努めていきたいと考えています。

特集 インフルエンザとノロウイルス

感染症に【うつらない・うつさない】ために

毎年この時期になると「また冬がきた」と思うと同時にインフルエンザやノロウイルスが流行する季節となります。すでに10月には、全国各地でインフルエンザによる学級閉鎖が出ており、今シーズンは例年よりも早めの流行となっています。沖縄では9月にもかかわらず警報発令ができました。感染症に「うつらない・うつさない」ためにも、日頃からできる感染対策が必要です。

日頃からできる感染対策

『手洗い』が1番大切で感染予防に効果大

帰宅時には、石鹸と流水で手を洗い、うがいをしましょう。最近では、携帯用のアルコール製剤も販売されていますが、外出時には、それを活用するとさらに効果的です。ただし、ノロウイルスはアルコールの効果が低いいため、公共のトイレなどを使用した後には石鹸と流水による手洗いを実施することが大切です。

インフルエンザワクチンの接種

インフルエンザの流行期を迎えるにあたり、重症予防として11月～12月上旬までにインフルエンザワクチンを接種することをおすすめします。

『せきエチケット』を守りましょう

- ◎せき・くしゃみがあるときは、マスクをつけましょう。
- ◎せき・くしゃみの際は、他の人から顔をそむけ、ティッシュやハンカチなどで口や鼻を覆いましょう。
- ◎せきやくしゃみを押さえた手、鼻をかんだ手は、直ちに石鹸で手を洗いましょう。
- ◎せきをしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

インフルエンザと診断されたら

- ◎周りにうつさないように外出をさけて、自宅で療養しましょう。
- ◎薬を処方された場合は、きちんと回数・量・期間を守って最後まで服用しましょう。
- ◎症状がでてから7日程度は、他の人にうつす可能性があるため、せきエチケットを実施しましょう。

ノロウイルスと診断されたら

- ◎有効な治療薬はありません。症状は1～2日間と短いことが多いため、その間はしっかりと水分補給し、脱水状態にならないように心がけましょう。
- ◎下痢がおさまっても、通常1週間程度、長い時には1ヶ月程度ウイルスの排出が続くときがあります。排出後には、必ず石鹸で流水で手洗いを実施しましょう。



ズーラシアへ遠足 ほうゆう保育園

11月1日と11月6日、ほうゆう保育園でズーラシアへ遠足に行ってきました。バスに乗るところからワクワクが止まらず、ズーラシアに着いてからは、それぞれが楽しみにしていた動物に出会えたようです。

